

議員提出議案第 29 号議案への反対討論

2025 年 12 月 5 日
日本共産党神戸市会議員団
西 ただす

私は、日本共産党を代表して、議員提出第 29 号議案神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の件について反対の立場から討論を行います。

本議案は自民・公明・立憲民主・国民民主の各議員の提案により、議員の期末手当を現在年間で 4.55 月分を 4.6 月分とし、507 万 7800 円から 513 万 3360 円へと 5 万 5800 円引き上げようとするものです。

今回の手当への引上げは、人事委員会勧告に基づく一般職員の期末手当の改定に合わせて行おうというのですが、議員の手当は一般職員と異なります。議員自らが発議しなければ引き上げることはできないものであり、賛同はできません。

自民党による企業団体献金を原資にした裏金問題に怒りの声が大きく広がり、総選挙に続き、参議院選挙においても自民・公明政権は過半数割れという厳しい審判が下されました。さらに、自民・維新政権においても「政治とカネ」に関わる不正・疑惑は後を絶たず、国民の怒りはさらに高まっています。

国民は長引く物価高騰により苦しめられています。ところが、高市政権は消費税減税を求める国民の声を無視し、さらに賃上げに関しては、2020 年代中の最低賃金 1500 円とする目標を取り下げてしまいました。

物価高対策として提案された総合経済対策は、高校生以下の子どもへの 2 万円、おこめ券、電気・ガス代への支援という一時しのぎのものばかりです。

市民の苦境に背を向け、賃上げ政策も後退する中、議員だけが、自らの期末手当を引上げようなどということに到底市民の理解をえることはできません。

以上、反対の理由を申し上げ、議員の皆様の賛同をお願いいたします。